

講義名: 国際法B <春> 曜日: 金1 担当教員名: 軽部 恵子	ナンバリングコード: LAW2500 曜日2:		
研究室: 聖アンデレ館10階1022号室	オフィスアワー: 火曜日16時45分~17時30分、金曜日16時45分~17時30分	メールアドレス:	
授業形態			
『講義』『アクティブラーニング』			
講義・演習概要			
この講義は、国際法の基礎知識を学びます。具体的には、国際法の最も重要な法源である条約法の基礎を学ぶとともに、日本の進路に多大な影響を与えた条約をその歴史的背景や当時の国際情勢とともに取り上げます。国際法がわかると、新聞やテレビの国際ニュースがわかるようになります。それは、国際法が国家の行動を規律する世界共通のルールだからです。講義冒頭には、国内外のメディアのホームページを用いて、メディア・リテラシーも学びます。			
学習(到達)目標			
①国際法、とくに条約法の基礎知識(重要な条約、判例を含む)を修得する。 ②国際法が個人の生活に直結することを理解し、歴史的文書の今日的意義を考察する。 ③国際問題の理解に必要な一般教養、とくに歴史・地理・文化・宗教を修得する。 ④メディア・リテラシーを身につける。			
講義・演習計画			
【第1回】 国際法の基本原則			
【第2回】 条約(1) 条約案の交渉			
【第3回】 条約(2) 署名と採択			
【第4回】 条約(3) 批准			
【第5回】 条約(4) 効力発生			
【第6回】 条約(5) 無効と終了			
【第7回】 条約(6) 留保			
【第8回】 条約(7) 国内法との関係			
【第9回】 日本と国際法(1) 日米和親条約と日米修好通商条約			
【第10回】 日本と国際法(2) 日清戦争、日露戦争、パリ講和会議			
【第11回】 日本と国際法(3) 真珠湾攻撃、太平洋戦争、サンフランシスコ講和会議			
【第12回】 日本と国際法(4) 日本国憲法と日米安保条約			
【第13回】 日本と国際法(5) 「唯一の被爆国」と核軍縮			
【第14回】 日本と国際法(6) 国連女性差別撤廃条約			
【第15回】 まとめ、期末試験			
成績評価の方法			
試験	100%	レポート	その他
コメント	試験3回(25%、25%、50%)で決定します。最初の2回は抜き打ちで行います。詳細は第1回授業で発表します。		
テキスト			
著書	編集代表 岩沢雄司他	タイトル	国際条約集2021
ISBN		出版社	有斐閣
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
加藤信行他『ビジュアルテキスト国際法』第2版、有斐閣、2020年 芹田健太郎『新ブックス国際法入門』信山社、2020年 大沼保昭『国際法』筑摩書房、2018年 浅田正彦『国際法』第4版、東信堂、2019年 中谷和弘『国際法』第3版、有斐閣、2016年 薬師寺公夫他『判例国際法』第3版、東信堂、2019年 小川浩之他『国際政治史:主権国家体系のあゆみ』有斐閣、2018年			
事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間・事後学習 30 時間)			
毎回の授業で指示される参考文献や参考URLをもとに、事前および事後学習をしてください。			
その他備考(担当教員用)			
教科書は毎回使います。試験問題の一部は、教科書を用いて解答する形式です。			
キーワード			
国際法、条約法、日本史			
備考(管理者用)			
(旧:国際法)02~19E・SS・SW・B・L・J			